■■化学療法投与計画書《PER+HER+DTX療法　*DTX終了＊》■■

実施日	

患者番号	性別	身長　cm	
カナ氏名	生年月日	体重　kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積　㎡	

Rp)ペルツズマブ（パージェタ）　初回840mg 2回目以降　420mg
　トラスツズマブ（ハーセプチン）　初回8mg/kg 2回目以降　6mg/kg
　ドセタキセル（ワンタキソテール）　75mg/㎡
※ドセタキセルは6サイクルまで投与 7サイクル以降は主治医の判断で継続　3週毎

本管①
KN3号輸液　200mL　1　袋

レジメンコメント1

レジメンコメント2

側管①　初回840mg、2回目以降420mg
大塚生食注　250mL　1　袋
ペルツズマブ　mg
〈腫〉パージェタ点滴静注420mg:
※
※初回60分　2回目以降30分

側管②
生理食塩液　100mL　1　瓶
※
※初回60分　2回目以降30分

側管③
大塚生食注　250mL　1　袋
トラスツズマブ　mg
トラスツズマブBS点滴静注用150mg 150mg:
トラスツズマブBS点滴静注用60mg 60mg:
※
※初回90分　2回目以降30分

＜注意すべき副作用＞
●下痢　●脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)
●悪心・食欲不振　●発疹　●粘膜の炎症
●間質性肺疾患

★ペルツズマブおよびトラスツズマブ投与期間中、以下の症状（Infusion reaction）に注意すること
・発熱、悪寒　・嘔気、嘔吐
・疼痛、頭痛、めまい　・咳、発疹、無力症など
・アナフィラキシー様症状
・間質性肺炎、肺障害
異常が認められた場合には解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤の投与等を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること

＜実施時の注意＞
●トラスツズマブ
ブドウ糖溶液との混合を避け、同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。